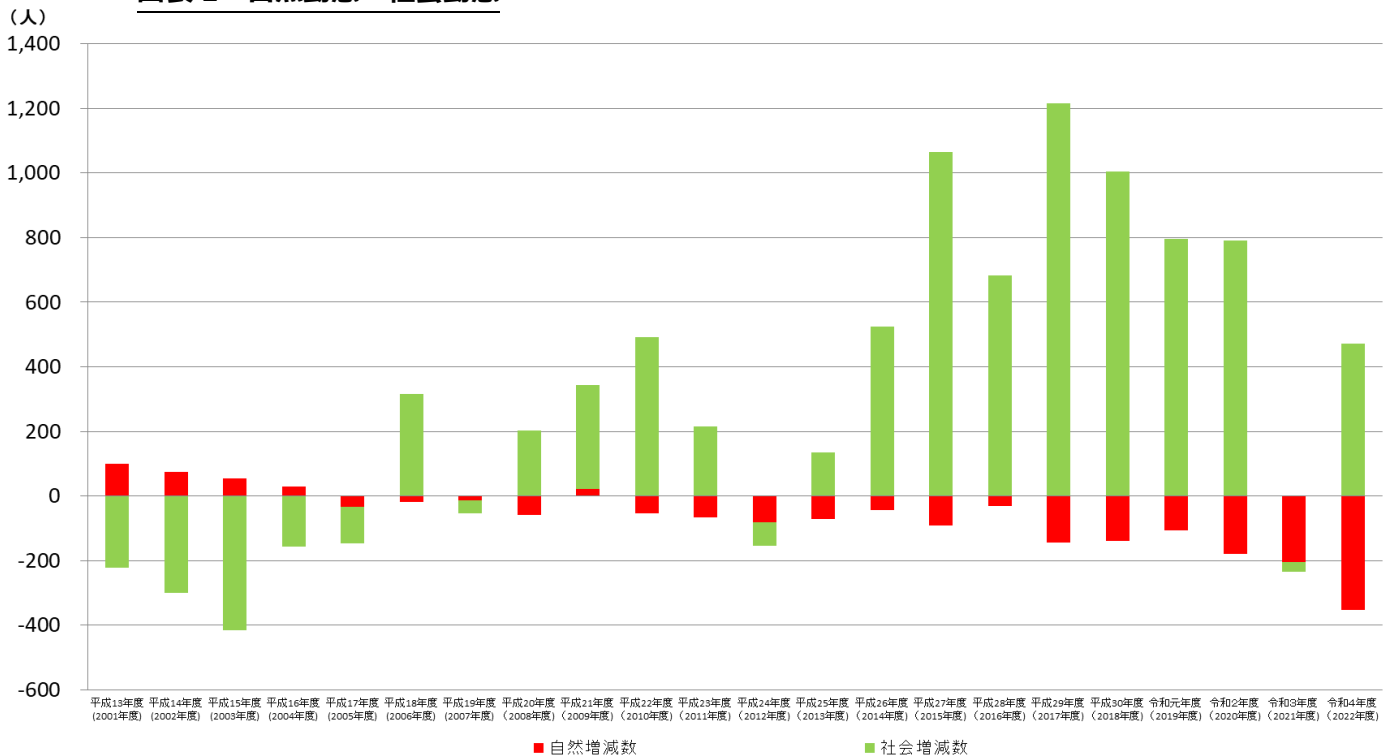


蕨市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの現状

①自然動態・社会動態(令和4年度)

- 出生数は昨年度より 23 人減少して 485 人となり、死亡数は昨年度より 126 人増加し 838 人となりました。自然増減数は 353 人減（昨年度は 204 人減）となりました。
- 転入数は昨年度より 630 人増加して 6,336 人となり、転出数は昨年度より 128 人増加して 5,864 人となりました。社会増減数は 472 人増（昨年度は 30 人減）となりました。
- 全体としては平成 18 年（2006 年）頃からの「自然減・社会増」の傾向が続いています。

図表 1 自然動態・社会動態



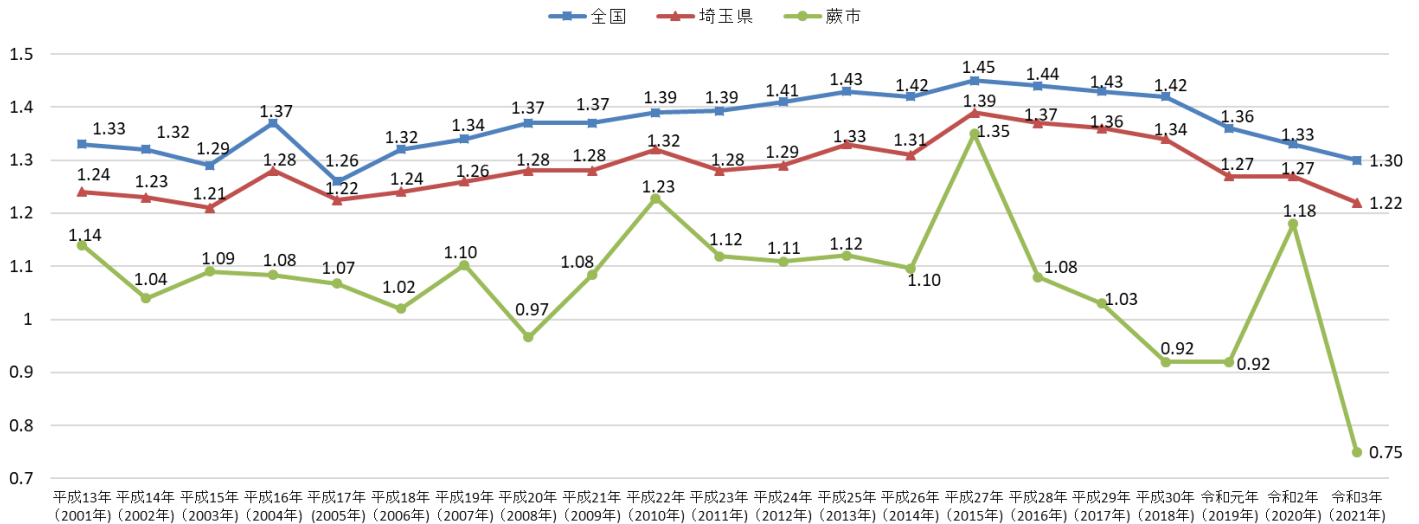
	自然動態			社会動態		
	出生数	死亡数	自然増減数	転入者数	転出者数	社会増減数
平成13年度(2001年度)	620	519	101	4,880	5,103	▲ 223
平成14年度(2002年度)	602	528	74	4,780	5,079	▲ 299
平成15年度(2003年度)	602	548	54	4,536	4,951	▲ 415
平成16年度(2004年度)	561	531	30	4,548	4,705	▲ 157
平成17年度(2005年度)	543	577	▲ 34	4,537	4,649	▲ 112
平成18年度(2006年度)	530	549	▲ 19	4,830	4,514	316
平成19年度(2007年度)	578	592	▲ 14	4,482	4,521	▲ 39
平成20年度(2008年度)	513	572	▲ 59	4,502	4,298	204
平成21年度(2009年度)	584	562	22	4,443	4,122	321
平成22年度(2010年度)	548	601	▲ 53	4,715	4,222	493
平成23年度(2011年度)	574	639	▲ 65	4,522	4,307	215
平成24年度(2012年度)	587	669	▲ 82	4,929	5,000	▲ 71
平成25年度(2013年度)	598	669	▲ 71	5,789	5,655	134
平成26年度(2014年度)	597	641	▲ 44	5,780	5,256	524
平成27年度(2015年度)	634	726	▲ 92	6,609	5,545	1064
平成28年度(2016年度)	632	662	▲ 30	6,308	5,625	683
平成29年度(2017年度)	569	712	▲ 143	6,899	5,684	1215
平成30年度(2018年度)	529	667	▲ 138	7,056	6,051	1005
令和元年度(2019年度)	584	690	▲ 106	6,761	5,965	796
令和2年度(2020年度)	567	746	▲ 179	6,589	5,798	791
令和3年度(2021年度)	508	712	▲ 204	5,706	5,736	▲ 30
令和4年度(2022年度)	485	838	▲ 353	6,336	5,864	472

資料：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」（総務省、平成 12 年～24 年度）、及び、「住民基本台帳」（蕨市、平成 25 年～令和 4 年度）

②合計特殊出生率

○埼玉県「合計特殊出生率の年次推移」によると蕨市の合計特殊出生率は、令和3年（2021年）で約0.75となっています。なお、算定の手法上、国勢調査年以外の年は、特に外国人人口の多い本市においては、数値が下がる傾向にあります。

図表2 合計特殊出生率の推移



図表3 県内自治体（市のみ）の合計特殊出生率

平成29年(2017年)					令和3年(2021年)						
順位	市名	合計特殊出生率	順位	市名	合計特殊出生率	順位	市名	合計特殊出生率	順位	市名	合計特殊出生率
1	吉川市	1.46	21	鴻巣市	1.25	1	白岡市	1.30	21	日高市	1.12
2	八潮市	1.45	22	所沢市	1.25	2	八潮市	1.28	22	桶川市	1.11
3	朝霞市	1.43	23	草加市	1.23	3	深谷市	1.25	23	蓮田市	1.11
4	志木市	1.41	24	鶴ヶ島市	1.23	4	朝霞市	1.24	24	鴻巣市	1.10
5	三郷市	1.37	25	熊谷市	1.22	5	越谷市	1.22	25	和光市	1.10
6	白岡市	1.34	26	上尾市	1.21	6	本庄市	1.22	26	草加市	1.09
7	深谷市	1.34	27	本庄市	1.20	7	東松山市	1.21	27	北本市	1.09
8	越谷市	1.34	28	入間市	1.20	8	さいたま市	1.21	28	春日部市	1.09
9	蓮田市	1.34	29	川口市	1.20	9	三郷市	1.20	29	富士見市	1.08
10	さいたま市	1.33	30	狭山市	1.20	10	上尾市	1.20	30	入間市	1.08
11	和光市	1.32	31	久喜市	1.17	11	吉川市	1.19	31	ふじみ野市	1.08
12	戸田市	1.32	32	春日部市	1.16	12	新座市	1.18	32	加須市	1.07
13	桶川市	1.31	33	飯能市	1.15	13	狭山市	1.18	33	久喜市	1.05
14	ふじみ野市	1.31	34	坂戸市	1.13	14	熊谷市	1.16	34	坂戸市	1.01
15	川越市	1.31	35	北本市	1.10	15	秩父市	1.15	35	川口市	0.98
16	東松山市	1.30	36	加須市	1.09	16	鶴ヶ島市	1.15	36	羽生市	0.98
17	羽生市	1.30	37	日高市	1.09	17	志木市	1.14	37	飯能市	0.96
18	秩父市	1.30	38	行田市	1.09	18	戸田市	1.13	38	行田市	0.96
19	富士見市	1.30	39	蕨市	1.03	19	所沢市	1.13	39	幸手市	0.84
20	新座市	1.26	40	幸手市	0.98	20	川越市	1.13	40	蕨市	0.75

資料：「合計特殊出生率の年次推移（保健所・市区町村別）」（埼玉県）

③年齢階級別移動数

○令和4年においても、近年の蕨市の特徴である「15歳～29歳」における『転入超過』、及び、「30歳～39歳」の『転出超過』が見られます。昨年との比較では、「0歳～9歳」の転出超過数が60人以上増加するとともに、「30歳～39歳」の転出超過数が70人以上増加しました。一方、「20歳～24歳」の転入超過数が70人以上増加しました。

図表4 令和4年における年齢階級別移動数

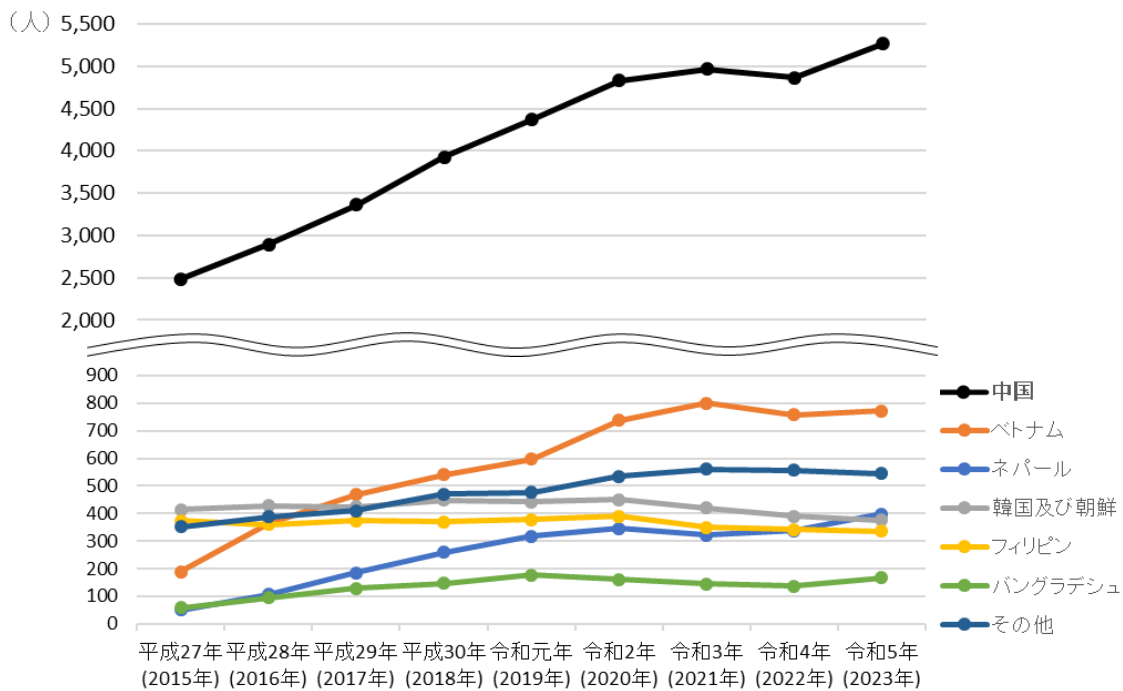
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
転入	167	85	52	144	1,322	1,505	803	416	279	249	174	113	80	45	38	34	41	29	17
転出	277	100	66	98	908	1,501	887	486	307	218	182	133	83	62	71	45	48	37	27
転出入	-110	-15	-14	46	414	4	-84	-70	-28	31	-8	-20	-3	-17	-33	-11	-7	-8	-10

資料：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省）

④外国人人口

○国籍別の動向を見ると、近年は、中国が他と比較して多く、全体の6割以上を占めており、ベトナムも全体の1割程度を占めるようになってきました。外国人人口全体としては、令和4年は減少に転じたものの、増加傾向が続いています。

図表5 外国人人口の動向（各年4月1日）



	平成27年(2015年)	平成28年(2016年)	平成29年(2017年)	平成30年(2018年)	令和元年(2019年)	令和2年(2020年)	令和3年(2021年)	令和4年(2022年)	令和5年(2023年)
中国	2,483	2,895	3,360	3,925	4,369	4,831	4,963	4,861	5,266
ベトナム	188	363	469	541	597	737	801	757	772
ネパール	51	106	185	259	318	345	321	337	399
韓国及び朝鮮	414	428	424	449	443	451	421	389	376
フィリピン	373	359	374	370	378	389	350	341	335
バングラデシュ	58	94	128	146	176	161	145	137	166
その他	352	388	411	471	477	534	560	556	544
合計	3,919	4,633	5,351	6,161	6,758	7,448	7,561	7,378	7,858

資料：「国籍別人口」（蕨市）

⑤人口の推移と年齢構成

○令和5年においては、前年と比べ、生産年齢人口は増加し、年少人口・老年人口はともに減少となりました。構成比では、年少人口の割合が僅かに減少傾向であり、75歳以上の割合では増加傾向がみられます。

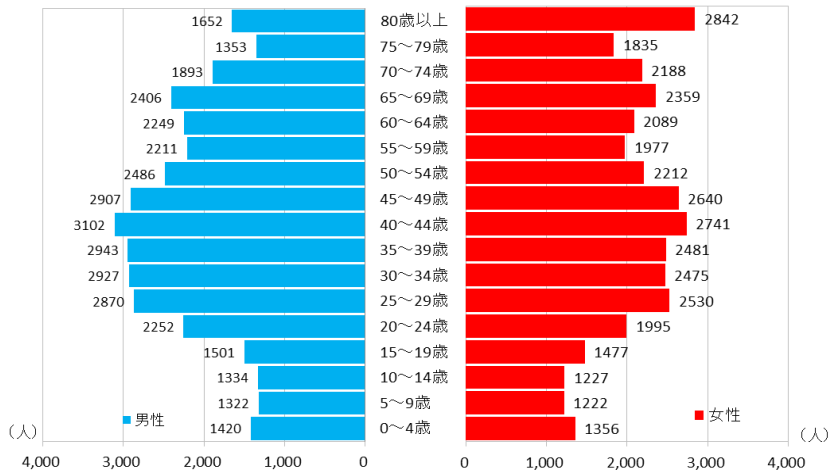
図表6 総人口及び年齢4区分別人口の推移（住民基本台帳人口 各年4月1日）

		令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
年少人口 (0～14歳)	実数(人)	8,101	8,120	8,059	7,941	7,832
	構成比(%)	10.8%	10.7%	10.6%	10.5%	10.4%
生産年齢人口 (15～64歳)	実数(人)	49,763	50,060	50,288	49,918	49,967
	構成比(%)	66.1%	66.2%	66.3%	66.3%	66.4%
老年人口 (65歳以上)	実数(人)	17,390	17,474	17,494	17,454	17,396
	構成比(%)	23.1%	23.1%	23.1%	23.2%	23.1%
75歳以上	実数(人)	8,903	9,084	9,023	9,245	9,548
	構成比(%)	11.8%	12.0%	11.9%	12.3%	12.7%
総人口	実数(人)	75,254	75,654	75,841	75,313	75,195

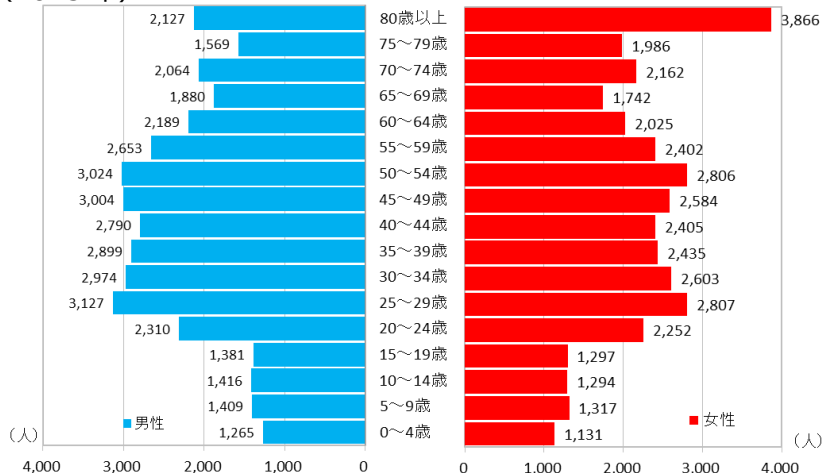
資料：「年齢別人口統計」(蕨市)

図表7 男女別年齢5歳階級別人口の推移（人口ピラミッド）

平成27年（2015年）



令和5年（2023年）



資料：「年齢別人口統計」(蕨市)

⑥転入・転出状況

○転入元の上位は川口市・戸田市ですが、転入超過数で見ると東京都区部が上位を占めています。近年の傾向として、東京都区部からの人口流入が続いています。

図表 8 令和 4 年における蕨市への転入状況

転入数				転入超過数		
順位	対象自治体	実数	構成比	順位	対象自治体	実数
1	埼玉県川口市	963人	17.2%	1	東京都北区	121人
2	埼玉県戸田市	310人	5.5%	2	東京都板橋区	110人
3	東京都北区	277人	5.0%	3	東京都大田区	85人
4	東京都板橋区	213人	3.8%	4	埼玉県朝霞市	34人
5	埼玉県さいたま市南区	154人	2.8%	5	東京都八王子市	31人
6	神奈川県横浜市	124人	2.2%	6	福岡県福岡市	30人
7	東京都豊島区	107人	1.9%	7	東京都練馬区	27人
8	東京都足立区	94人	1.7%	7	埼玉県さいたま市見沼区	27人
9	東京都練馬区	85人	1.5%	9	千葉県千葉市	21人
9	東京都大田区	85人	1.5%	10	東京都豊島区	17人

資料：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省）

○転出先の上位は川口市・戸田市・さいたま市南区といった埼玉県内近隣自治体ですが、転出超過数で見ても、川口市やさいたま市への人口流出が特徴となっていることがわかります。

図表 9 令和 4 年における蕨市からの転出状況

転出数				転出超過数		
順位	対象自治体	実数	構成比	順位	対象自治体	実数
1	埼玉県川口市	1091人	19.7%	1	埼玉県川口市	128人
2	埼玉県戸田市	315人	5.7%	2	埼玉県さいたま市南区	67人
3	埼玉県さいたま市南区	221人	4.0%	3	埼玉県さいたま市緑区	40人
4	東京都北区	156人	2.8%	4	神奈川県川崎市	19人
5	神奈川県横浜市	113人	2.0%	5	東京都足立区	12人
6	東京都足立区	106人	1.9%	6	東京都江東区	11人
7	東京都板橋区	103人	1.9%	7	埼玉県戸田市	5人
8	埼玉県さいたま市緑区	92人	1.7%	7	東京都葛飾区	5人
9	東京都豊島区	90人	1.6%	9	東京都台東区	3人
10	神奈川県川崎市	85人	1.5%	10	東京都新宿区・江戸川区	各1人

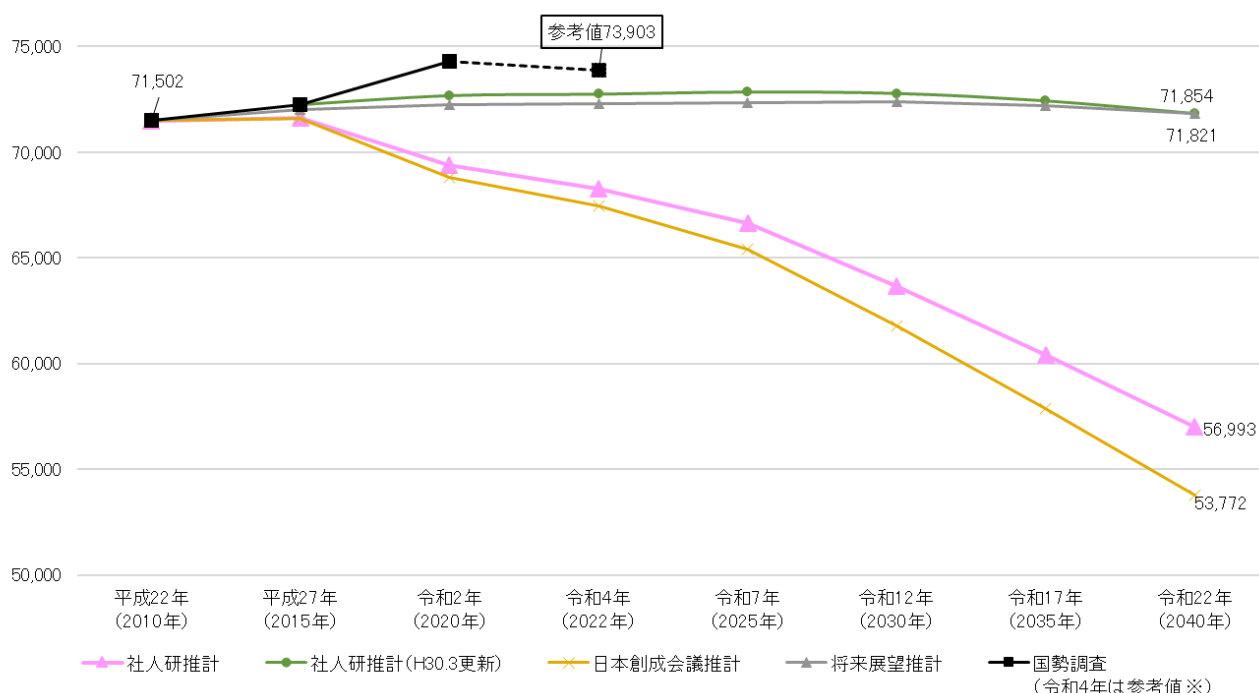
資料：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省）

⑦人口の将来展望の現状

- 令和2年（2020年）の国勢調査では、蕨市の総人口は74,283人となりました。これは、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）推計や日本創成会議推計を上回ったほか、蕨市の将来展望推計と比較しても2,010人上回る結果となりました。
- 本市においては、近年、人口増加の傾向が続いていますが、将来において危惧される人口減少を克服するため、引き続き、総合戦略の施策を着実に実施していく必要があります。

図表 10 総人口の比較（社人研推計、日本創成会議推計、蕨市将来展望、国勢調査

（令和4年の各数値は参考値 ※）



	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和4年 (2022年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)
社人研推計	71,502	71,604	69,375	68,289	66,658	63,646	60,409	56,993
社人研推計(H30.3更新)		72,260	72,680	72,746	72,845	72,780	72,441	71,854
日本創成会議推計	71,502	71,604	68,817	67,463	65,430	61,769	57,872	53,772
将来展望推計	71,502	72,040	72,273	72,297	72,332	72,373	72,186	71,821
国勢調査 (令和4年は参考値 ※)	71,502	72,260	74,283	73,903	-	-	-	-

資料：社人研「日本の市町村別将来人口推計人口」、日本創成会議「全国市町村別『20～39歳女性の将来推計人口』、「国勢調査」（総務省）、「年齢別人口統計」（蕨市）

- ※社人研推計については、平成30年3月に更新され、蕨市の将来推計人口の見通しが大幅に改善されました。
- ※令和4年の各数値は、令和2年～令和7年の増減数を案分して算出した値。（国勢調査参考値を除く）
- ※令和4年の国勢調査の数値は調査実施年でないため、令和2年の国勢調査確定値と住民基本台帳人口との差分（-1,421人）を算出し、令和4年の住民基本台帳人口から差し引いた値